

災害の早期復旧に向け「治山技術エキスパート部隊」が現地入り
(平成20年岩手・宮城内陸地震対応)

平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した大規模な山腹崩壊等の早期復旧を図るため、全国の国有林治山技術者で編成した「治山技術エキスパート部隊」(今回9名)が、本日から、岩手・宮城両県の国有林で活動を開始したので、お知らせします。

「治山技術エキスパート部隊」は、地震により発生した磐井川上流(岩手県)、荒砥沢ダム上流、花山湖上流(以上、宮城県)等の大規模な地すべりや山腹崩壊箇所の現地調査を行い、速やかな復旧計画を作成することとしています。

引き続き、復旧に向けた体制づくりを進め、一日も早く地域の方々が安全で安心できる暮らしを実現できるよう努めて参ります。